

事務の合理化に依つて一人の常任が特別に任じられる様な事象がとてえられた様なことがあり、進材適所に事務を割当て、部署を決定し、従来に比すれば部には多量の経理事の統率がかかる様になつた。

二 臨戦実行を戦つたストライキの数は五件である。此の中二件は落敗に終り三件は部分的に勝利を得た。此の五件のストライキはことごとく無準備の持込み争議だったのである。二 争議の惨敗の原因は無準備専ら法に欠点があつたことは否めないが根本的な原因は失敗り無計画の持込み争議であつたからである。

無準備の持込み争議と云ふ極めて不利な条件を有する争議を部分的にせよ勝利せしめ得たことは臨戦争議組織を實行したからである。自信は、ストライキ中心準備を以て對面側に組織した。百派、渡辺、吉兼、の三分会、ストライキ実行前に資本家を以て屈服せしめたのである。

三 組織の方面では臨戦実行石八分会の確立を見た。五月から執行された職場獲得競争は二十回戦勝の回数と決定し、この勝利は、労働組合の開始より進歩的である。

二、我々は初期の目的を一應完成した。僅か六ヶ月の間旧態と比べて、はるかに前進した。次は大工場、大経営、獲得を目標に中評全軍隊の性烈なる前進だ。

各組合の組織争議部の確立に就いて

一、我が總評議会が抱ける大企業主義の實現のための中心的活動をなす機關として組織争議部が絶対に必要である。

ロ、組織争議部は一切の組織活動——ストライキを石パーセント責任を以て指導するを任務とする。専ら組織部を組織部・争議部といふ。組織部は組織部を以て組織部として組織部を以て組織部とする。二 回全国大会に於て組織争議部と云ふ殊に改められたのである。次の理由は右翼組合の組織運動は争議のための組織運動ではなく組織のための組織運動である。此に反して左翼組合の組織運動は自己の政治的中心任務（大衆の軍事的訓練）を遂行する手段としてのストライキの準備活動として行われるのである。従つてストライキ指導者は組織部をなすべからぬ。組織部は同時的にストライキ指導部をなすべからぬといふのである。